

第1回国際日本語プロフィシエンシー研究シンポジウム

The 12th International OPI シンポジウム

プログラム

2019年10月15日版

11月2日(土)

08:30~ 受付開始(図書館講堂)

09:00~09:30 **開会式** 司会: 于飛(大連外国語大学)

主催者挨拶

常俊跃(大連外国語大学 副学長)

鎌田 修(日本語プロフィシエンシー研究学会 会長)

来賓挨拶

国際交流基金 金子聖仁

09:30~9:45 集合写真

09:50~12:15 **基調講演** 司会: 奥野由紀子(首都大学東京)

09:50~10:15 基調講演 1

高 昇(中国教育部考試中心外語考試処 処長)

10:15~10:40 基調講演 2

曹 大峰(北京外国語大学 教授)

10:40~10:45 休憩

10:45~11:30 基調講演 3

プロフィシエンシー研究の魅力とインパクト

鎌田 修(日本語プロフィシエンシー研究学会会長)

11:30~12:15 基調講演 4

ちょっとおもしろくなる話

定延 利之(京都大学文学研究科教授)

12:20~13:15 昼食



13:15~14:45 OPI ファミリアライゼーション 司会：鎌田 修（南山大学）

三浦 謙一 トレーナー（フランクリン&マーシャル大学教授）

14:45~15:00 移動・休憩

15:00~17:00 口頭発表・ポスター発表

口頭発表

第1会場 司会：由井 紀久子（京都外国語大学）

15:00~15:25

会場 1-A 初中級学習者が「聞き手参加型聴解」を行うために一生の雑談の分析に基づいて—
山森理恵（横浜国立大学） 金庭久美子（立教大学） 奥野由紀子（首都大学東京）

15:30~15:55

会場 1-B 中国の高等教育機関における他校との協力による「内容重視」の会話授業の可能性
—初中級日本語学習者のアンケート調査および PPT 発表の実践を事例として—
樋佳世（三重大学）

16:05~16:30

会場 1-C 日本語学習者における「テシマウ」の使用の特徴
—YNU コーパス、及び8つのメールタスクデータを用いて—
金庭久美子（立教大学） 金蘭美（横浜国立大学） 曹娜（上海外国語大学）

16:35~17:00

会場 1-D “被就业”構造に見られる文法的バリエーション現象
張黎（鹿児島国際大学国際文化研究科博士課程後期）

第2会場 司会：岩崎 典子（南山大学）

15:00~15:25

会場 2-A ACTFL 言語運用能力基準を授業に生かす試み
—超絶話者を目指す日本語口頭表現クラスの実践とその意義—
後藤多恵（同志社大学）

15:30~15:55

会場 2-B OPI の質問内容による難易度の違い—「きっかけ」を聞く質問を焦点に—
堀恵子（筑波大学） 大隅紀子（東京大学） 世良時子（成蹊大学）

16 : 05~16 : 30

会場 2-C ACTFL-OPI 超級レベルの詳細範囲について—ILR レベルとの比較から—
小島堅嗣 (培材大学校 (韓国))

16 : 35~17 : 00

会場 2-D プロフィシエンシーと日本語クラス口頭能力試験アセスメント
池田隆介 (北九州市立大学) 池田富見子 (久留米大学) 古賀さと子 (福岡国際学院)
山下直子 (鹿児島キャリアデザイン専門学校)

第3会場 司会：松田 真希子 (金沢大学)

15 : 00~15 : 25

会場 3-A 相互行為における親しさの主張—好みをめぐる友人間のやりとりから—
高井美穂 (大阪大学日本語日本文化教育センター)

15 : 30~15 : 55

会場 3-B 日中ビジネス場面における同調行動に関する研究
楊一林 (金沢大学人間社会環境研究科博士後期課程)

16 : 05~16 : 30

会場 3-C 日本語母語話者に求められるプロフィシエンシーとは
—多文化共生社会におけるコミュニケーション能力再考—
西村美保 (清泉女子大学)

第4会場 司会：立部 文崇 (徳山大学)

15 : 00~15 : 25

会場 4-A 雑談における物語の評価表現—「と思う」をめぐって—
張未未 (早稲田大学大学院)

15 : 30~15 : 55

会場 4-B 「～と思って」による応答は何をしているのか—相互行為における「～と思って」の機能—
伊藤亜紀 (名古屋大学大学院)

16 : 05~16 : 30

会場 4-C 日本語習熟度と学習環境が学習者のノダの選択傾向に与える影響
—OPI をレベル分けテストに—
范一楠 (環太平洋大学)

16 : 35~17 : 00

会場 4-D 中国人日本語学習者における否定疑問文の習得に関する研究
邴勝 (大連外国語大学)



ポスター発表

第1セッション 15:00~15:55 司会：池田 隆介（北九州市立大学）

ポスター1-A 断り表現のストラテジーに関する日中対照研究—「依頼」に対する断り表現を中心に—
張齡文（岡山大学 東北師範大学）

ポスター1-B 日本語が「上手」とは何か—学習者・教師・日本人の観る「上手」—
杉本美穂（東京日本語学校 長沼スクール）、伊勢みゆき（新宿日本語学校）

ポスター1-C 中国の大学院における CLIL を用いた日本語授業と生きた言語指導の実践報告
—CLIL による社会言語クラスの授業展開と日本語母語学生を活用した生きた言語指導例—
東山志帆 張紹帥 李秋雅 林逸鵬 張建華（上海交通大学外国語学院）

ポスター1-D MOOCS による「日本語の聴解と会話」の講座
韓蘭靈 時春慧 畢楊 劉艷偉 于亮（大連理工大学）

ポスター1-E 新しい「国标」での日本語教育—OBE を中心に—
譚姍姍 王雪茹（大連交通大学）

第2セッション 16:05~17:00 司会：伊藤 亜紀（名古屋大学大学院）

ポスター2-A 初級学習者への就職面接対策講座の有効性検証の試み
—受講生の準備原稿と模擬面接動画の分析を通して—
高橋桂子（テンプル大学ジャパンキャンパス）

ポスター2-B 中級日本語学習者が日本を母語とする学生との共修で学ぶ批判的思考
—日本語プロフィシエンシーからの検討—
小林由子（北海道大学）

ポスター2-C ミャンマー人日本語学習者の現場指示の使用状況の試み—会話能力の育成を目指して—
YIN MOE THET（ヤンゴン外国語大学 岡山大学）

ポスター2-D OPI 上級話者の視点から見た日本語プロフィシエンシー
李陽（蘇州大学修士課程）・楊柳（海南大学卒業生）

ポスター2-E 感動詞のマルチモーダルの記述に向けて—中国語天津方言の「ei」を例に—
羅希（中山大學）

17:00~17:30 移動

17:30~19:30 懇親会

11月3日(日)

09:00~12:45 パネルディスカッション 司会: 立部文崇(徳山大学)

09:00~10:10 学会企画パネルディスカッション1

帰ってきたウツちゃんフェローズ特別企画 個を軸にした初級から上級への成長

ファシリテーター: 鎌田 修(年長丑)

パネリスト

1. 川口 義一(最年長丑)
「文脈化」と「個人化」による学習者主体の会話指導
—初中級「ゲストセッション」における敬語表現指導実践—
2. 由井 紀久子(年中丑)
認知プロンプトを使っていかに詳しく具体的な記述を導くか
—中上級における記述の「詳細化」の実践—
3. 奥野 由紀子(年少丑)
ディスカッションの中でいかに思考の深化を促すか
—上級における「貧困問題」をテーマとした実践—

10:15~11:25 学会企画パネルディスカッション2

多様化する個とプロフィシエンシー研究

パネリスト

1. 堤 良一(岡山大学)
個人差とキャラクターのプロフィシエンシー
2. 岩崎 典子(南山大学)
ジャンルとプロフィシエンシー研究
3. 松田 真希子(金沢大学)
「生きたことば」の主体的使い手としてのプロフィシエンシー

11:25~11:35 休憩

11:35~12:45 学会企画パネルディスカッション3

中国人学習者のプロフィシエンシー教育

パネリスト

1. 楊帆 (海南大学)
中国人上級日本語学習者の OPI から見るプロフィシエンシー
2. 曹娜 (上海外国語大学)
中国における日本語学習者のプロフィシエンシーを測る
—ACTFL-OPI を用いて—
3. 肖輝 (大連外国語大学)
大学の通訳授業におけるプロフィシエンシー教育の試み
4. 董博 (大連外国語大学・拓殖大学大学院博士後期課程)
中級中国人日本語学習者のリピーティングパフォーマンスについての一考察
—キーワード記述の有無、再生回数、再生音節数による評価の視点から—

12:45~13:10 閉会式 司会：楊帆 (海南大学)

全体総括 定延利之 (京都大学文学研究科教授)

優秀発表賞 発表

修了挨拶

堤良一 (第1回国際日本語プロフィシエンシー研究シンポジウム実行委員長)

于飛 (第1回国際日本語プロフィシエンシー研究シンポジウム大会校責任者)

13:10 閉会